



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

き く

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 - 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会 長 上 野 三 郎
幹 事 佐 藤 順 治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 926 号

1977. 9. 27 (火) (はれ)

No.13

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (我等の生業)
3. ビジター・ゲスト紹介
4. 会 長 報 告
5. 幹 事 報 告
6. 委 員 会 報 告

R. A. C地区大会の報告

交換学生ミス・ダイアンのお便り

ボランティアグループ協議会について 鶴工 I. Cより礼状

英語弁論大会後援の礼状

鶴岡 R. C.、鶴岡西 R. C 合同「秋の行楽家族会」について

台中訪問について

7. ゲストスピーチ 清河八郎点描

8. 出 席 報 告

阿 部 襄 君

高 橋 良 士 君

I. C 委員長 中 江 亮 君

青少年委員長 菅 原 辰 吉 君

親睦活動委員長 丹 下 誠 西 郎 君

国際親睦活動委員長 嶺 岸 光 吉 君

清河八郎記念館々長 成 沢 米 三 氏

出席委員長 石 川 寿 男 君

■ ビジター・ゲスト紹介

ビジター 旅河正美君（弁護士） 藤沢R.C

ゲスト 成沢米三氏

■ 幹事報告

1. 例会時間、場所変更

(1) 酒田R.C

来る10月5日（水）の当クラブの例会は芋煮会開催のため次のように変更
と き 10月5日（水）P.M6:00 ところ 料亭小幡（日和山公園入口）

2. 会報到着

- (1) 山形R.C (2) 山形西R.C (3) 山形北R.C (4) 山形南R.C
(5) 酒田R.C

3. 年次大会のご案内

(1) 第268地区年次大会

と き 昭和53年3月19日～21日

ところ 神戸市三宮駅前神戸国際会館

登録料 会員 10,000円、家族 8,000円 仮登録メ切 10月25日

4. その他来信

- (1) 交換学生ミス・ダイアンよりお便り
(2) ボランティアグループ協議会について 鶴工I.Cより礼状
(3) 英語弁論大会後援の礼状

■ 委員会報告

R.A.C地区大会の報告

阿部 襄君

R.Iロータリー第253地区第4回ローターアクト・クラブ年次大会

テーマ「若さ、友情、奉仕」

第4回ローターアクトクラブ年次大会は、去る9月17日（土）～18日（日）福島市 市民福祉会館で行われた。ホストクラブ 福島北R.A.C、スポンサークラブ 福島北R.C。登録受付は 12:00～12:50、点鐘 13:00、大会委員長 菅野孝三君の開会宣言に始まり、地区ガバナー 加藤武久氏（代理）、福島県知事、福島市民の祝辞があった式終了。

14:00～16:00 分科会、5部門に別れて熱心な討議が行われた。

18:00～20:30 飯坂グランドホテルに於て懇親会。

第2日目

- 9:00~10:00 福島市、市民福祉会館で全体会議、各分科会の報告。
- 10:00~11:00 記念講演「青年の社会への参加」尚志学園長 茂木昌彦氏
講演は、長く青年運動を実践していた方の話で感銘を与えた。
- 11:00~12:00 閉会式
次期大会開催地は、米沢R・A・Cと決定。
パストガバナー 大原 尊一郎氏の講評。
地区R・A委員長 伊藤中二郎氏の感想。

大会は盛会裡に終了した。

■ ゲストスピーチ 清河八郎点描

清河八郎記念館々長 成沢米三氏

成沢館長を尋ね清河八郎についてのお話を伺いましたので簡略ですが掲載致します。

清河八郎（1830~63）は、徳川幕府の時代を尊皇討幕（政治の実権を幕府から天皇に返すため、幕府を倒そうとすること）のため、全国を遊説（自分の政治上の意見を人々に語ること。）そして、新選組の前身、浪士組をひきいて京にのぼるが失敗し、なおも江戸で尊皇討幕を試みようとするが、麻布で幕府の役人に刺され34才の生涯を閉じた。

○天保元年（1830年）10月10日

現在の山形県東田川郡立川町清川の地で父 雷山、母 亀代との間に斎藤家の長男として生まれ、幼名を斎藤元司といった。家は、酒造りをしていて金持ちであった。（生家は残っていないが、今の安藤製材所の場所にあった。）

○天保7年（1836年）7才

父より孝経（お経の一種）の読み方を習う。

○天保8年（1837年）8才

孝経を終え、論語（孔子の弟子が、孔手の言行などを書いた書物）を父に習う。

○天保10年（1839年）10才

鶴岡の伯父に預けられ、清水群治の手習所に通い、書道、商売往来、などを学びまた、伊達塾で大学、論語、詩経を学ぶ。

○天保13年（1842年）13才

清川に帰される。

○天保14年（1843年）14才

畑田安右衛門という役人に学問を学ぶ。

- 天保15年（1844年）15才

立志（志を立てる）

且起私乗（八郎少年、青春時代の日記）の訳

正月の日記 「はじめて自分の気持を述べる。自分は一生田舎の生活で終りたくない。いつか江戸に出て、偉い先生について学び天下第一の人物になりたい」

- 弘化4年（1847年）18才

書き置きを残して家出。江戸に上京。東条塾に入り学ぶ。

- 嘉永4年（1851年）22才

北辰一刀流千葉周作の門に入り、学問と武芸の両方にはげみ、東条塾の塾頭を命ぜられ、北辰一刀流目録を一年で受けるほどすさまじかった。

- 嘉永6年（1852年）23才

安積民齋塾に入る。

- 安政元年（1854年）25才

アメリカのペリーが軍艦7隻をひきいて江戸湾内に侵入。八郎はじっとしておれぬ気を感じる。昌平校に入学するが、8カ月で退学、自ら学問と武道の開塾を三河町で行なうが3カ月で火災にあう。このころから清河八郎と名乗りだす。

- 安政2年（1855年）26才

帰郷。母をつれて伊勢詣り。

- 安政3年（1856年）27才

上京。淡路坂に開塾するが火災にあう。お玉ヶ地塾をひらく。山岡鉄舟、高橋泥舟等の友人ができる。

- 安政6年（1859年）30才

八郎先頭に国家を救う実際の活動に入る。同志による尊王討幕の虎尾の会ができるが幕府の目がきびしく解散。

- 万延元年（1860年）31才

桜田門外の変。井伊直弼暗殺。幕府に対する非難高まる。

- 文久元年（1861年）32才

身をかかし、伊勢、九州で遊説を行なう。

- 文久2年（1862年）33才

寺田屋の変おこり、幕府の力弱まる。八郎は、幕府の力を利用し、浪士組を結成。倒幕にむけた。これに反対した浪士らが新選組を結成。八郎、幕府にねらわれる。

- 文久3年（1863年）34才

八郎、幕府の佐々木只三郎等6人に暗殺される。

○昭和37年

百年祭が行われ、郷土の人々の尽力により清河八郎会館が清川神社境内に建てられ遺物、遺品が展示されている。

○結びに

清河八郎は頭もよく、武芸にすぐれ、又努力家で親孝行で、学者としても偉大な人物であった。

お す す め

ロータリー情報委員会

当委員会今年度計画の最重点項目として会員各位の自己啓発の啓蒙的役割の推進に努めることにしております。

人、総てがそうですけれども、経営に携わる方でも如何なる職種の人でありまして私達は常に勉強の必要性を感じ、時には集合教育の場に、又は講演会に出席するとか社会的に開かれた一般的勉強をしておるわけです。勿論、開かれた一般的勉強も大切ではありますが、なんと云っても自からの独学に勝る勉強ほど強いものはありませんし、加うるに私達は又、毎例会の出席等ロータリーの総てに参加することにより得る多くの質的修得は、私達の血となり肉となり、自分のものとしての力となるものと思います。もう中秋、秋の夜長に10分でも20分でもよいのです、日常奉仕活動の中に読書を入れて下さい。

そんなことなど考え、当委員会の乏しい予算の中から私達ロータリアンとして必要な文献を整備いたしましたので会員各位の大いなる御活用を「おすすめ」いたしたく御案内申し上げます。

▶ 文献目録 ◀

- ・ロータリーとは ・あなたの地域社会を知れ ・あなたの若人を知れ
- ・出席規定 ・平和への七つの道 ・彼らの身になって
- ・みんなが貢献するロータリー財団
- ・ロータリー財団に関する講演の準備 ・ロータリー財団の友
- ・ポールハリス準フェロー ・特別補助金 ・教育補助金
- ・インターアクトの提唱 ・ロータリークイズ
- ・職業奉仕でわれわれは何をなしうるか ・委員会資料一揃
- ・目的をもった討議 ・奉仕こそわがつとめ ・ロータリー入門
- ・ロータリーの手ほどき ・ロータリー大要 ・職業による奉仕
- ・友情への旅券

以上何時でも事務局の山下さんに申し出て御利用下さい。

東半球部より手紙が参りました

1977年9月19日

鶴岡ロータリークラブ

会長 上野三郎様

貴クラブを公式訪問された加藤ガバナーのご報告を興味をもって拝読いたしました。ガバナーは貴クラブの暖い歓待を大いに楽しまれた様子です。ガバナーはまた、貴クラブの軌道に乗った運営、会員間の親睦、地域社会に対する数々の奉仕につき讃辞を述べられました。

「要約」を拝読し貴クラブは青少年奉仕に力を入れ、青少年を奉仕部門の一部に配置し、実績を挙げられていることは感銘深いものであります。

貴クラブのご成功とご繁栄をお祈り申し上げます。

東半球部
クラブへの奉仕
抽冬忠

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	張君、玉城君、風間君、高橋(耕)君、中野(清)君、佐藤(伊)君、笹原君、中村君、藪田君、佐藤(元)君
	出席数	60名		
	出席率	85.71%		

前回の出席	前回出席率	87.14%	メモクアッブ	笹原君一仙台R.C 佐藤(衛)君一酒田R.C 角田君、中野(清)君、中村君一鶴岡西R.C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	94.29%		